

生息場所の点検、発生の予防①

ヒアリ確認場所周辺での対応

◆ヒアリを確認した場合、その周辺に営巣している可能性がある。そのため、次の点のチェックとその対応を行う。

生息しやすい場所の確認

- ・公園や農耕地等やや開けた環境
- ・営巣できる土がある
- ・餌となる昆虫類等が見られる



公園



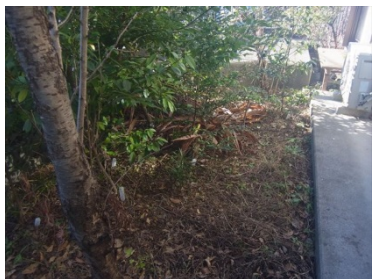
耕作地周辺



芝地



草地



庭

(海外事例を参考に国内類似環境を示している。)

刺傷被害が起きやすい状況

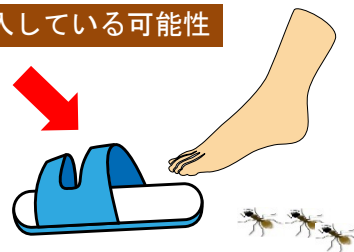
- ・農作業、庭の手入れや家庭菜園など屋外での作業
- ・野外に置いてあるサンダル等の靴を履く



アリが活動している可能性

庭いじり、家庭菜園、農作業等の作業

アリが侵入している可能性



庭やベランダなど野外に置いてあるサンダル等の靴を履く時

生息場所の点検、発生の予防②

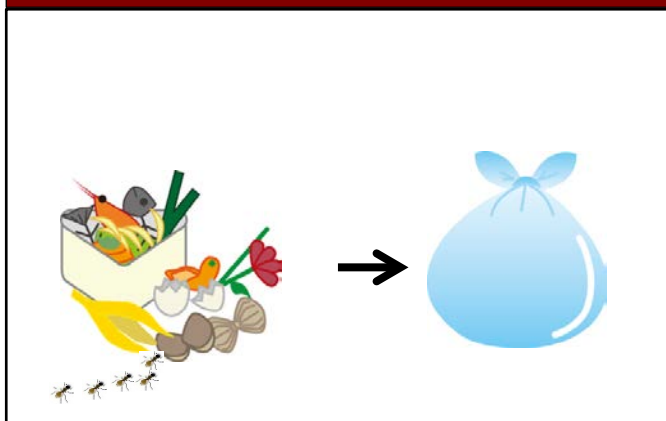
ヒアリの生息環境への対応

◆すみかとなる環境を作らない

①屋内へ侵入できる隙間をつくらない



②餌となるもの(生ゴミの適切な処理、食品の管理等)を放置しない



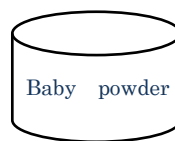
◆刺傷の機会を低減する

①サンダル等を外に置きっぱなしにしない



②野外での作業はベビーパウダーを靴やズボンに振りかけておく

アリが体に
のぼりにくく
なる



③野外での作業はプラスチック製手袋を着用



④室内も注意



室内へ侵入する可能性があるため、周辺で生息が確認された場合は室内でも注意する

※ ヒアリのすみかとなる場所を完全に無くすことは困難である。もし生息が確認された場合は駆除完了後においても、刺傷の恐れがある場所では慎重な行動を行うこと。